

マタイ 1

欠けだらけで 遣わされよう

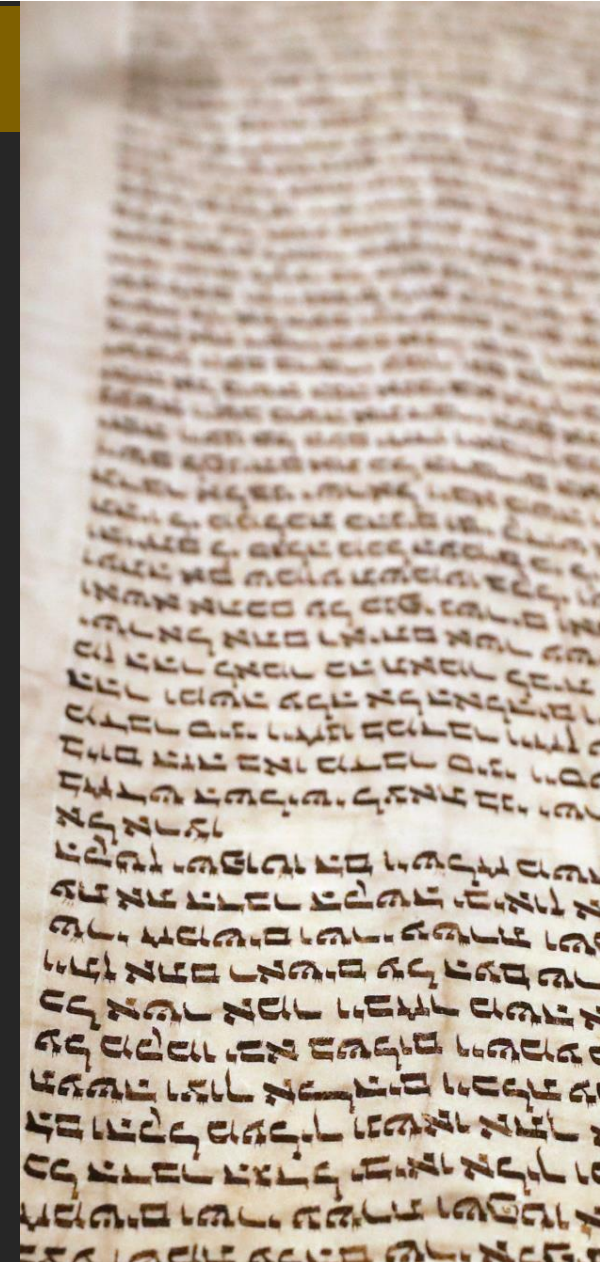
マタイ福音書1章1～17節

メシアの系図

アウトライン

- 0. アダムからアブラハムまで
- I. アブラハムからダビデまで 1～5節
- II. ダビデからバビロン捕囚 6～11節
- III. バビロン捕囚後、メシアまで 12～17節
- IV. まとめと適用

欠けだらけの系図が示す道へ





0. アダムからアブラハムまで



最初の人、アダムは、
蛇(サタン)にそそのかされ、
神との約束を破り、
禁じられていた実を食べた。

罪を犯した瞬間、
人は神と断絶された = 死

神は、蛇を裁くと同時に、
罪からの解放者である、
メシアの到来を予告された。
(※ギリシャ語では**キリスト**)

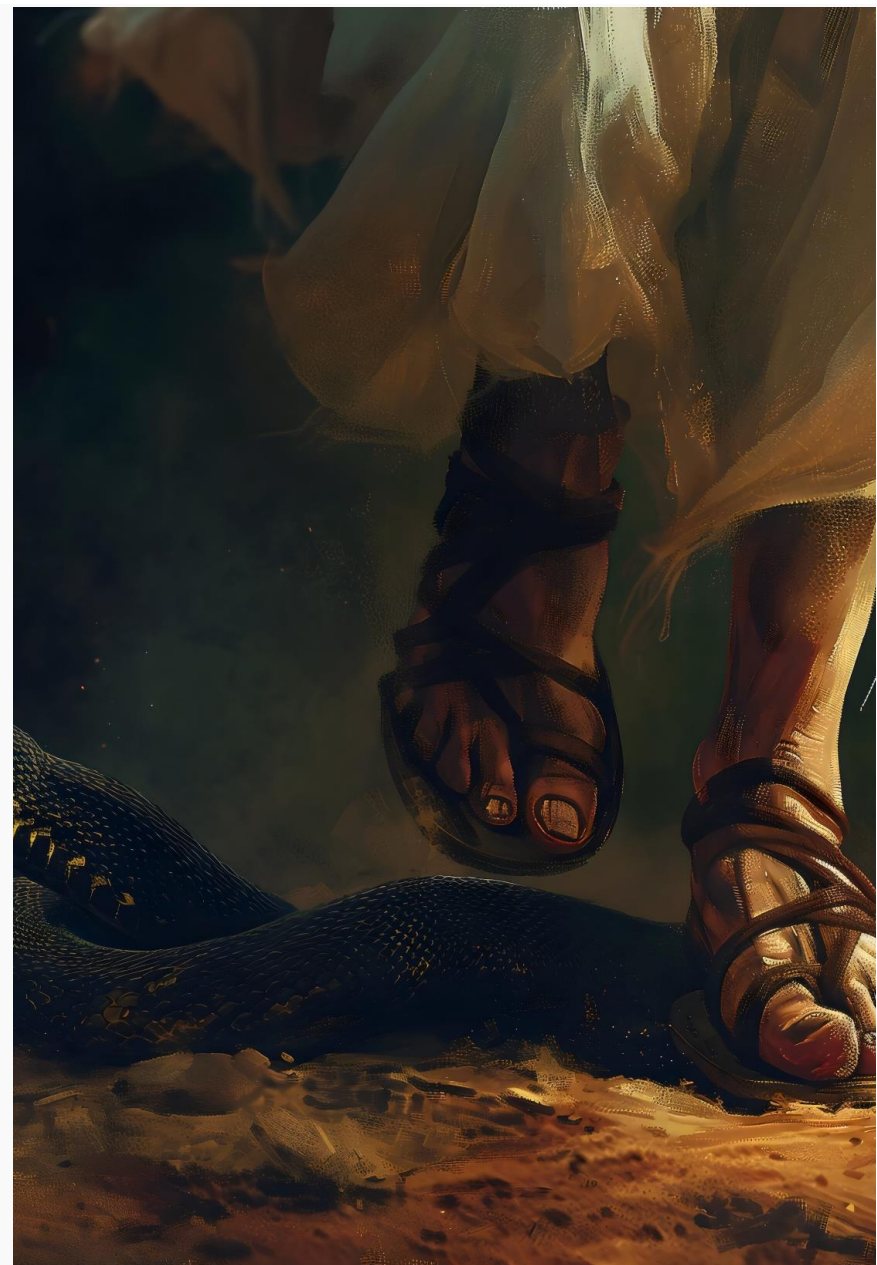
原福音 女の子孫・メシア 創世記3:15

「わたしは敵意を、おまえ*と女の間、おまえの子孫*と女の子孫*の間に置く。彼はおまへの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」

*サタン(反キリスト)

*女の子孫(キリスト)

■ **メシア**は、女の子孫として生まれ、犠牲を払って、悪魔に勝利される。





人は罪を重ね、
大洪水の裁きを招いた。

再び増え広がった人類は、
またしても神に逆らい、
共通の言葉を失い、
全地に散らされた。

滅びにひた走る人間のため、
神の救いの計画が、
一人の人、
アブラハムから始まった。

メシアの系図

族長時代	①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち
寄留の時	④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフション → ⑩サルマ
定着の時	⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ
王国時代	⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち
捕囚後～ 中間時代	㉘エコンヤ → ㉙シエアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マタン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス



Ⅰ. アブラハムからダビデまで

マタイ福音書1:1～5

前書き

メシアに至る系図 マタイ1:1

アブラハムの子*、ダビデの子*、イエス・キリストの系図。

*子孫

■原文の語順は逆!!

「系図。イエス・キリスト、ダビデの子、アブラハムの子。」

■アブラハム～ダビデ～メシアに至る系図

➡最も正統なイスラエルの系図



族長時代 イスラエルの礎 マタイ1:2

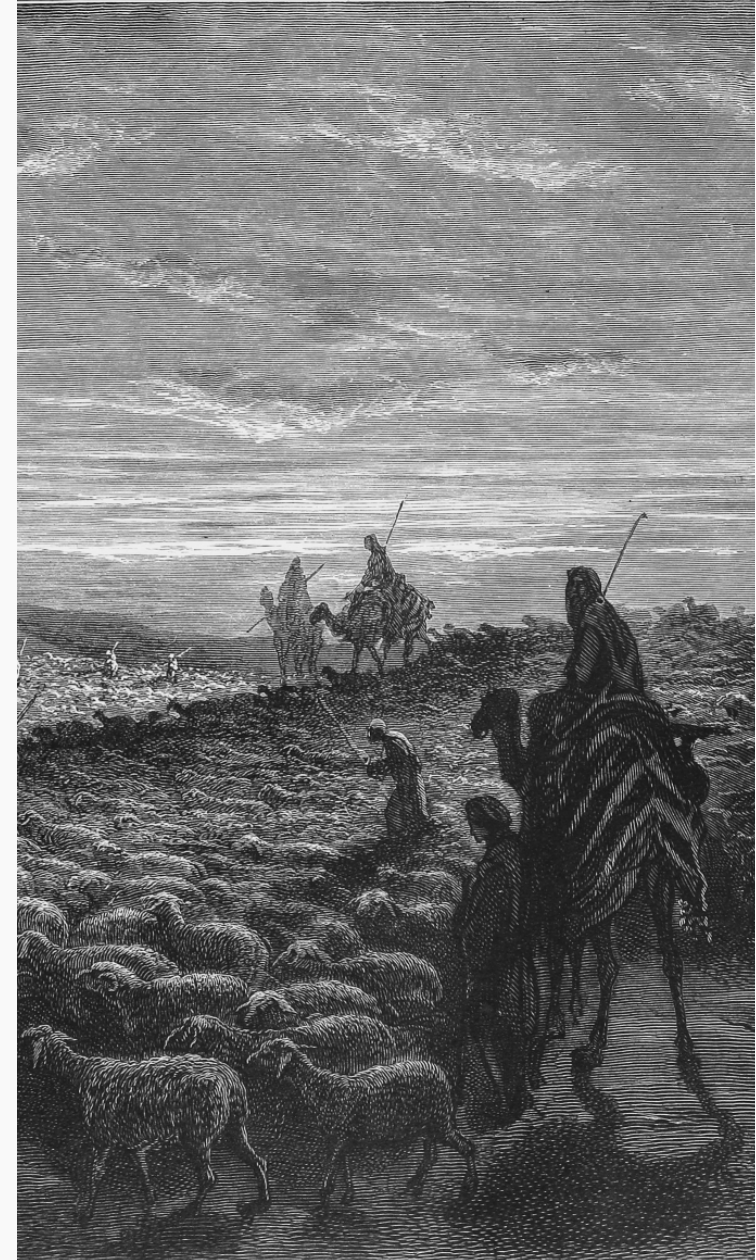
アブラハムがイサクを生み、イサクがヤコブを生み、ヤコブがユダとその兄弟たちを生み、

■ 「アブラハム、イサク、ヤコブの神」

→ イスラエルの神

■ アブラハム～ヤコブの12人の息子

→ イスラエル民族の礎



約束されたメシアの祝福

■創世記12:1～3

12:1 【主】はアブラムに言われた。

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

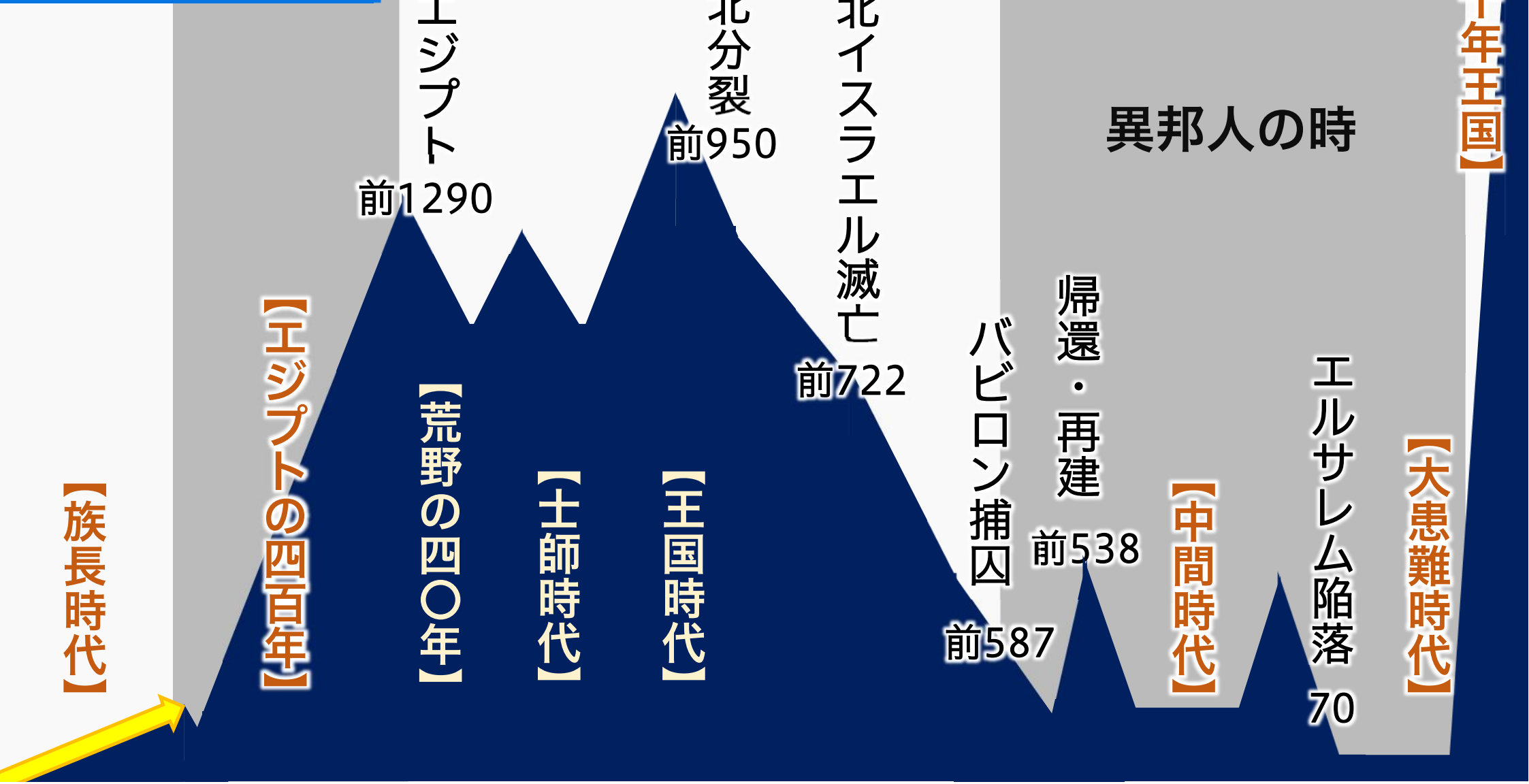
12:2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

12:3 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。**地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」**

メシアの系図

族長時代	①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち
寄留の時	④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフション → ⑩サルマ
定着の時	⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ
王国時代	⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち
捕囚後～ 中間時代	㉘エコンヤ → ㉙シェアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マトン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

【千年王国】

異邦人の時

族長時代 一人目の女性 マタイ1:3

ユダがタマル*によってペレツとゼラフを生み、

- 弟ヨセフを売り飛ばし、ユダは靈的に墮落。
- 不信仰によりユダの息子が次々と死去。
ユダは、嫁のタマル*に原因を負わせたが…
- タマル*は娼婦になりすまし、舅ユダを誘惑。
生まれた双子の弟ペレツが、系譜を継いだ。
- 食糧調達に行ったエジプトで、末弟ベニヤミンの身代わりを申し出たユダ。
→ユダの子孫からメシアが出ると預言



ユダ族が継ぐ王権とメシアの系譜

■創世記49:8～10

ユダよ、兄弟たちはおまえをたたえる。

おまえの手は敵の首の上であり、

おまえの父の子らはおまえを伏し拝む。

ユダは獅子の子。

わが子よ、おまえは獲物によって成長する。

雄獅子のように、雌獅子のように、うずくまり、身を伏せる。

だれがこれを起こせるだろうか。

王権はユダを離れず、王笏はその足の間を離れない。

ついには**彼**がシロに来て、諸国の民は彼に従う。

寄留の時

イスラエル民族誕生 マタ1:3~4

ペレツがヘツロンを生み、ヘツロンがアラムを生み、アラムがアミナダブを生み、アミナダブがナフションを生み、ナフションがサルマを生み、

- ヤコブのユダら12人の息子、一族70人は、飢饉を逃れてエジプトへ寄留。
- 400年後、奴隷から解放されてエジプト脱出。モーセを通し、シナイ山で神と契約を結ぶ。
- 不信仰のゆえ、40年間、荒野を放浪
→ ようやく約束の地へ帰還



「モーセのような一人の預言者」

■申命記18:15、18

あなたの神、【主】はあなたのうちから、あなたの同胞の中から、**私のような一人の預言者**をあなたのために起こされる。

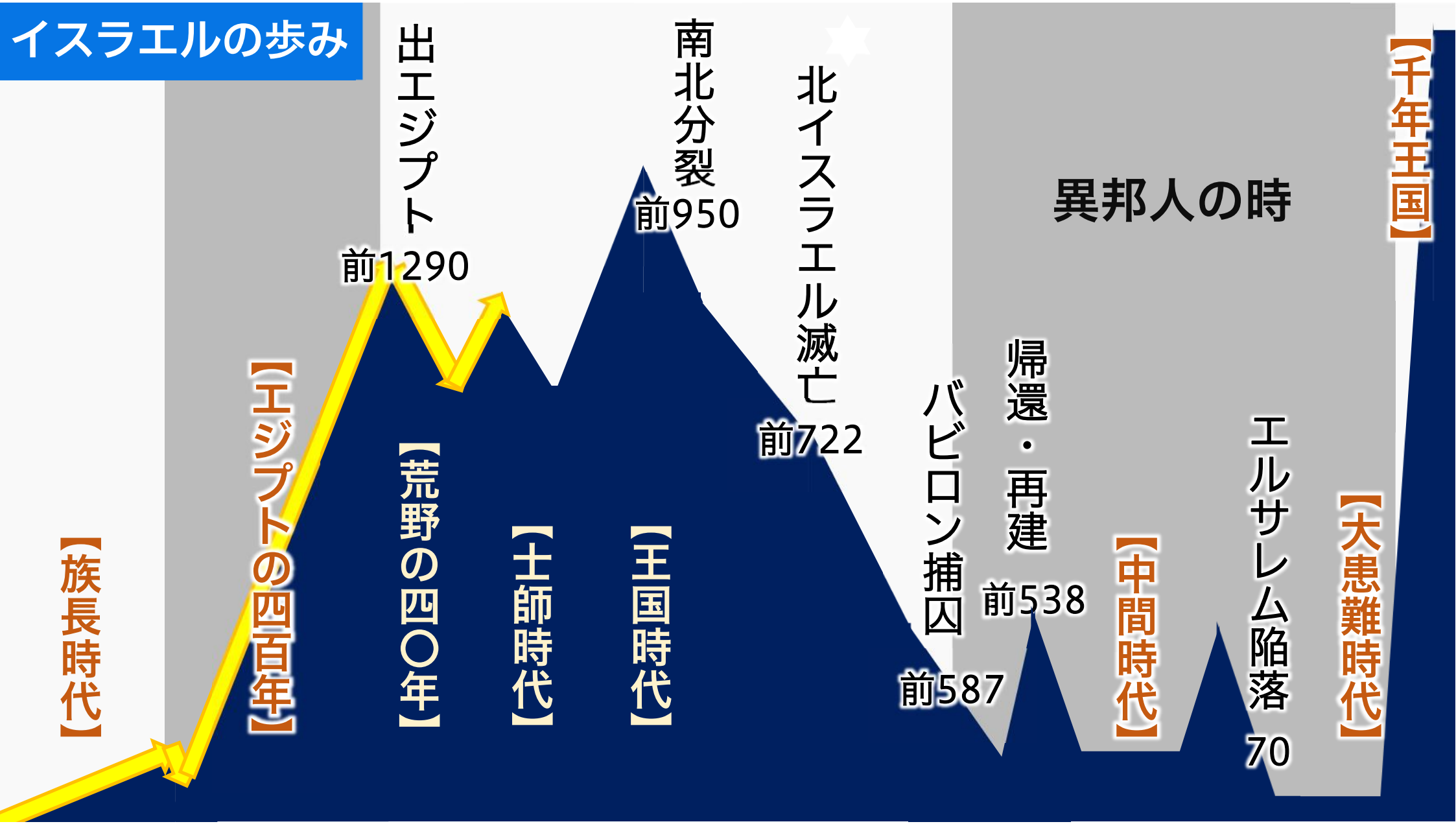
あなたがたはその人に聞き従わなければならない。

わたしは彼らの同胞のうちから、彼らのために**あなたのような一人の預言者**を起こして、彼の口にわたしのことばを授ける。彼はわたしが命じることすべてを彼らに告げる。

メシアの系図

族長時代	①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち
寄留の時	④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフション → ⑩サルマ
定着の時	⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ
王国時代	⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち
捕囚後～ 中間時代	㉘エコンヤ → ㉙シエアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マトン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

南北分裂
前950

北イスラエル滅亡
前722

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

【中間時代】

エルサレム陥落
70

【大患難時代】

【千年王国】

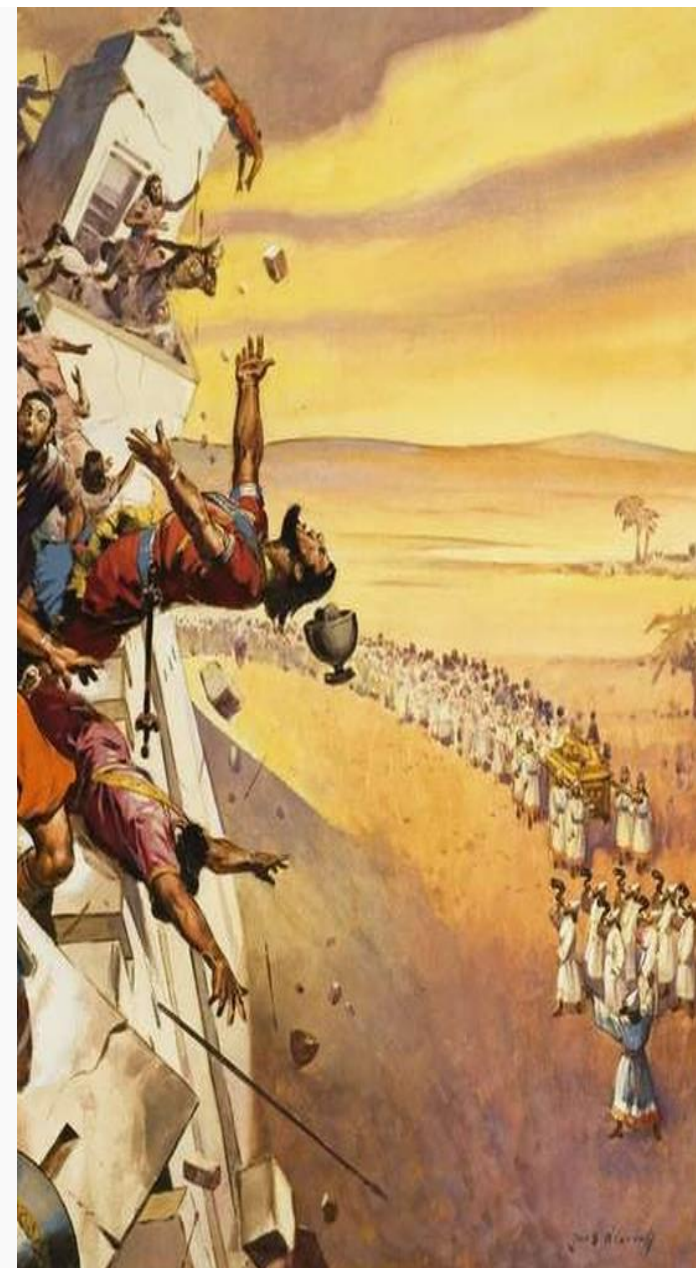
異邦人の時

定着の時 ラハブとルツ マタイ1:5～6

サルマがラハブ*によってボアズを生み、ボアズがルツ*によってオベデを生み、オベデがエッサイを生み、エッサイがダビデ王を生んだ。

- 約束の地での最初の戦い・エリコ攻略。
イスラエルの二人の斥候を助けたラハブ*は、一族と共にイスラエルに迎え入れられた。
- モアブ人ルツ*は、姑ナオミに忠実に従い、ボアズに嫁ぎ、オベデを生んだ。

➡二人の異邦人女性が、**ダビデ**につないだ



ダビデの子孫に現れる永遠の王・メシア

■ 歴代誌第一17:10~14

今、わたしはあなたに告げる。【主】があなたのために一つの家を建てる、と。

あなたの日数が満ち、あなたが先祖のもとに行くとき、わたしはあなたの息子の中から、あなたの後に世継ぎの子を起こし、**彼の**王国を確立させる。

彼はわたしのために一つの家を建て、わたしは**彼の**王座をとこしえまでも堅く立てる。

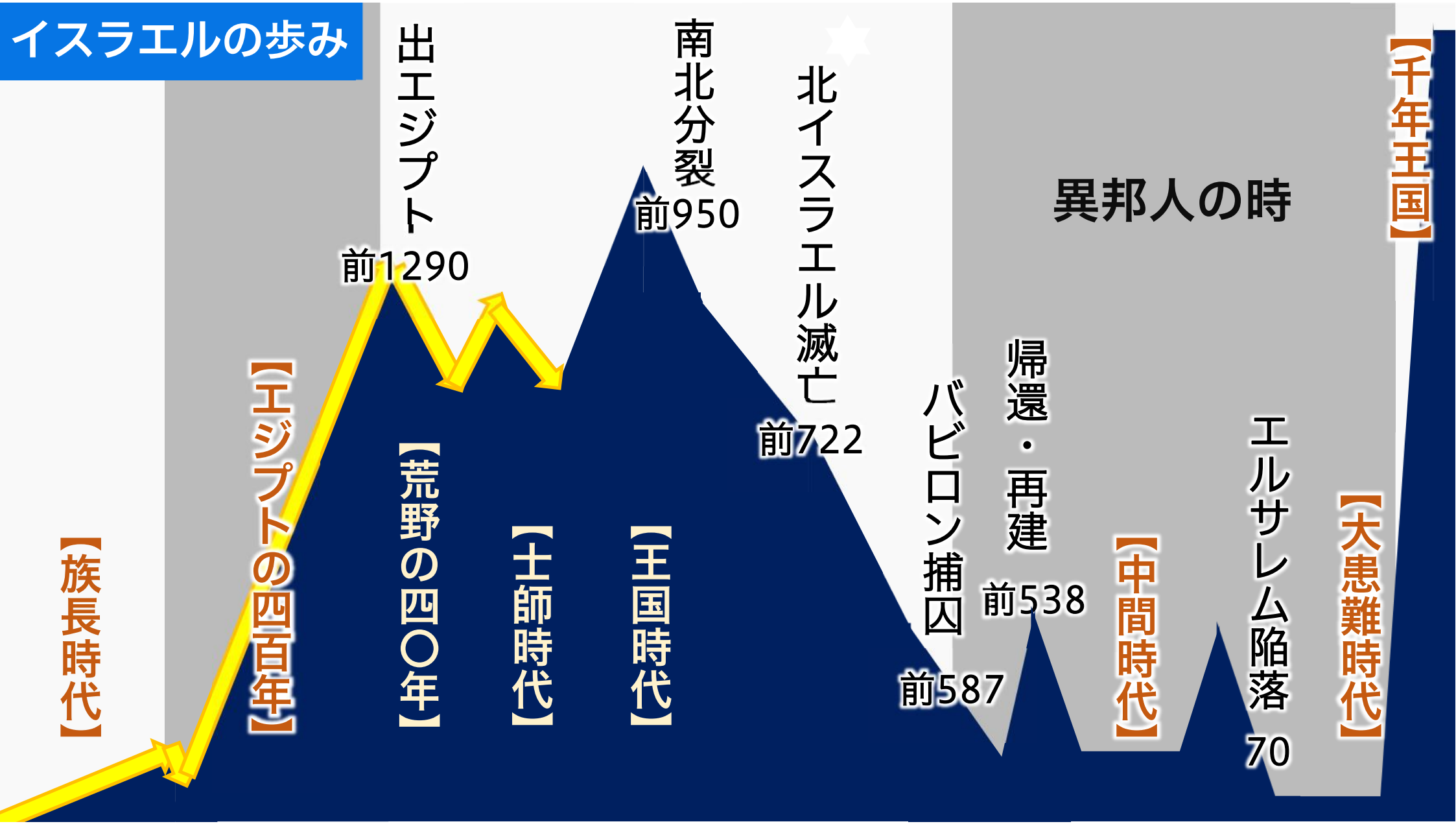
わたしは**彼の**父となり、**彼**はわたしの子となる。わたしの恵みを、わたしはあなたより前にいた者から取り去ったが、**彼**からはそのように取り去ることはしない。

わたしは、わたしの家とわたしの王国の中に、**彼**をとこしえまでも立たせる。**彼の**王座はとこしえまでも堅く立つ。』』

メシアの系図

族長時代	①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち
寄留の時	④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフション → ⑩サルマ
定着の時	⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ
王国時代	⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち
捕囚後～ 中間時代	㉘エコンヤ → ㉙シエアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マタン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

【千年王国】

異邦人の時



II. ダビデからバビロン捕囚まで

マタイ福音書1:6~11

王国時代 ウリヤの妻 マタイ1:6

ダビデがウリヤの妻*によってソロモンを生み、

- ダビデは、部下ウリヤの妻バテシャバ*と姦通。
懐妊後、ウリヤを戦場で死に追いやった。
- 最初の子は出生間もなく死去。
2番目に生まれたのが、ソロモン。
- ダビデが、エルサレムを都に定め、
王国の礎を築いた。
- ソロモンは神殿を建設。 ➔王国最盛期!!



王国時代 王の系譜 マタイ1:7～8

ソロモンがレハブアムを生み、レハブアムがアビヤを生み、アビヤがアサを生み、

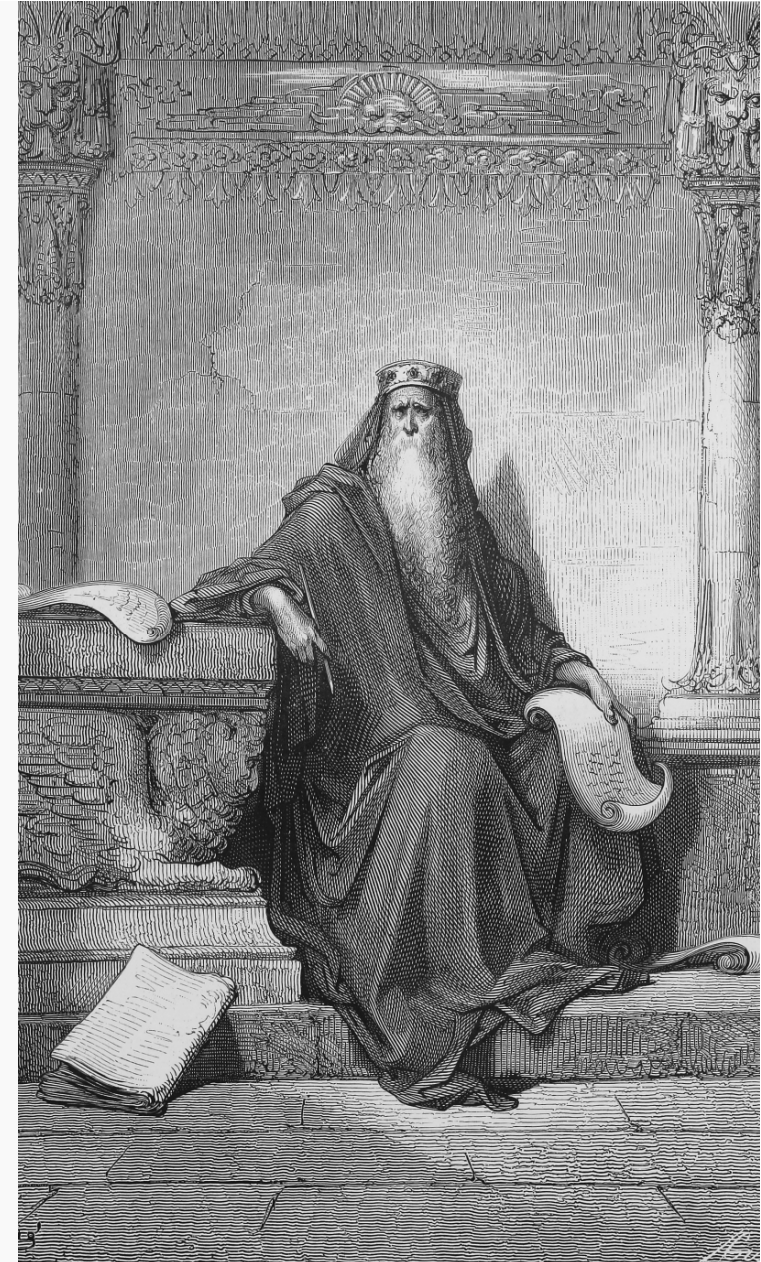
アサがヨシャファテを生み、ヨシャファテがヨラムを生み、ヨラムがウジヤを生み*、

■ ソロモンの偶像礼拝の罪で王国は分裂

…南王国では、善王と悪王が入り混ざる

*ヨアシユ、アマツヤが抜けている

…イゼベルの娘アタルヤが、ダビデ家を絶とうとしたのもこの間。



王国時代 極まる混沌 マタイ1:9~10

ウジヤがヨタムを生み、ヨタムがアハズを生み、アハズがヒゼキヤを生み、ヒゼキヤがマナセを生み、マナセがアモンを生み、アモンがヨシヤを生み、

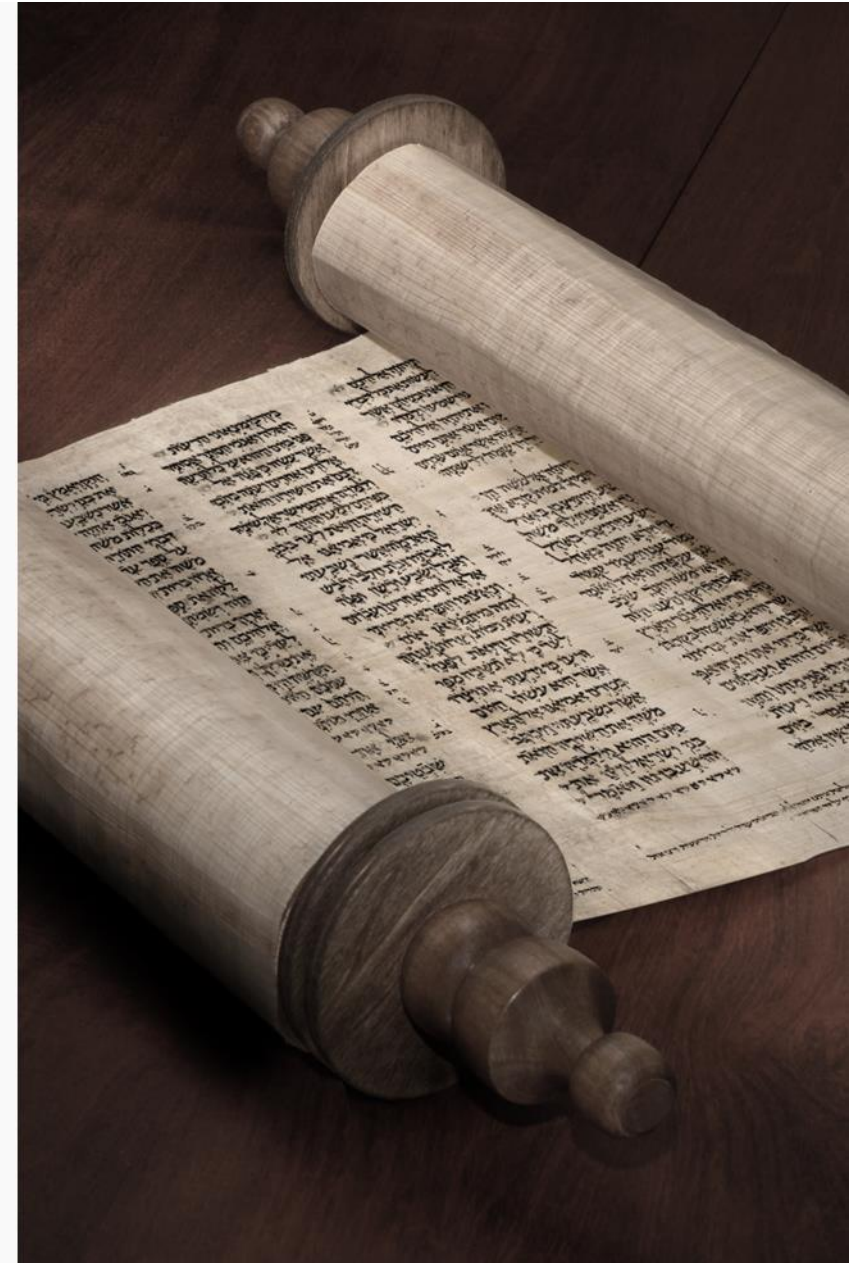
*善王 *悪王

■ 信仰復興をもたらしたヒゼキヤ

宗教改革を行ったヨシヤ

■ 一方、悪王による罪も深まる。

王マナセの時代、南王国の滅びは確定



王国時代 バビロン捕囚 マタイ1:11

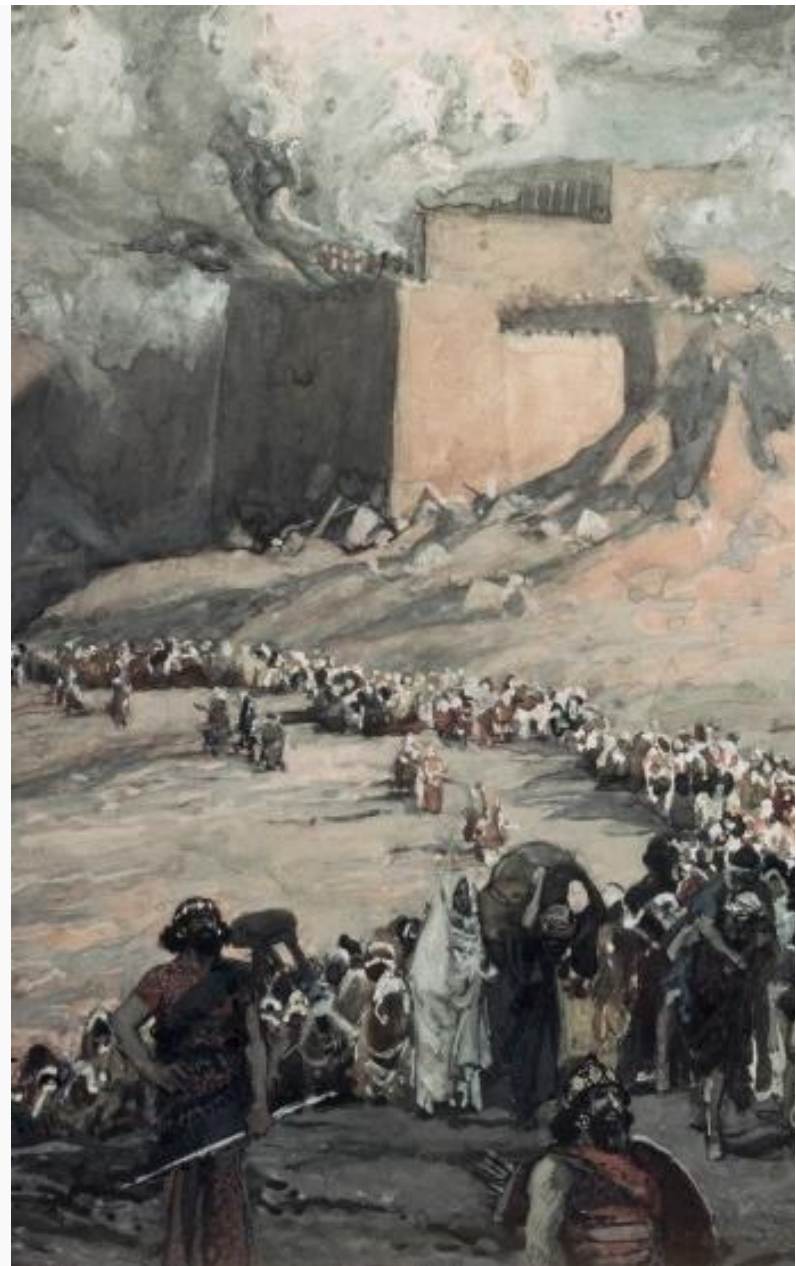
バビロン捕囚のころ、ヨシヤがエコンヤ*とその兄弟たちを生んだ。

*エホヤキムの子、エホヤキンの別名

ヨシヤ～エホヤキム～エホヤキン

■エホヤキンの時、第二次バビロン捕囚

➡エホヤキンも虜囚としてバビロンへ
後にバビロン王の恩赦、王の食卓に



失われた王権

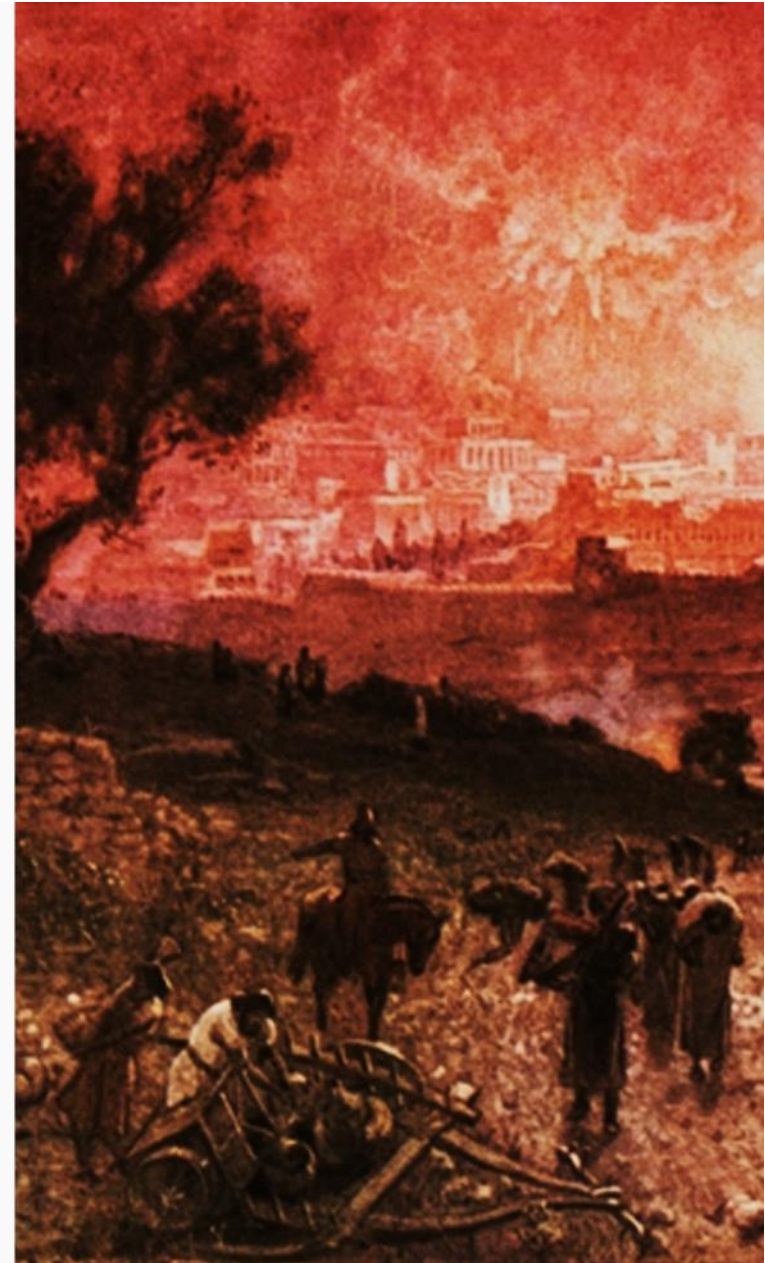
エレミヤ22:28～30

この人エコンヤは、蔑まれて碎かれる像なのか。だれにも顧みられない器なのか。なぜ、彼とその子孫は投げ捨てられ、見も知らぬ地に投げやられるのか。

地よ、地よ、地よ、【主】のことばを聞け。

「【主】はこう言われる。この人を『子を残さず、一生栄えない男』と記録せよ。彼の子孫のうち一人も、ダビデの王座に着いて栄え、再びユダを治める者はいないからだ。」

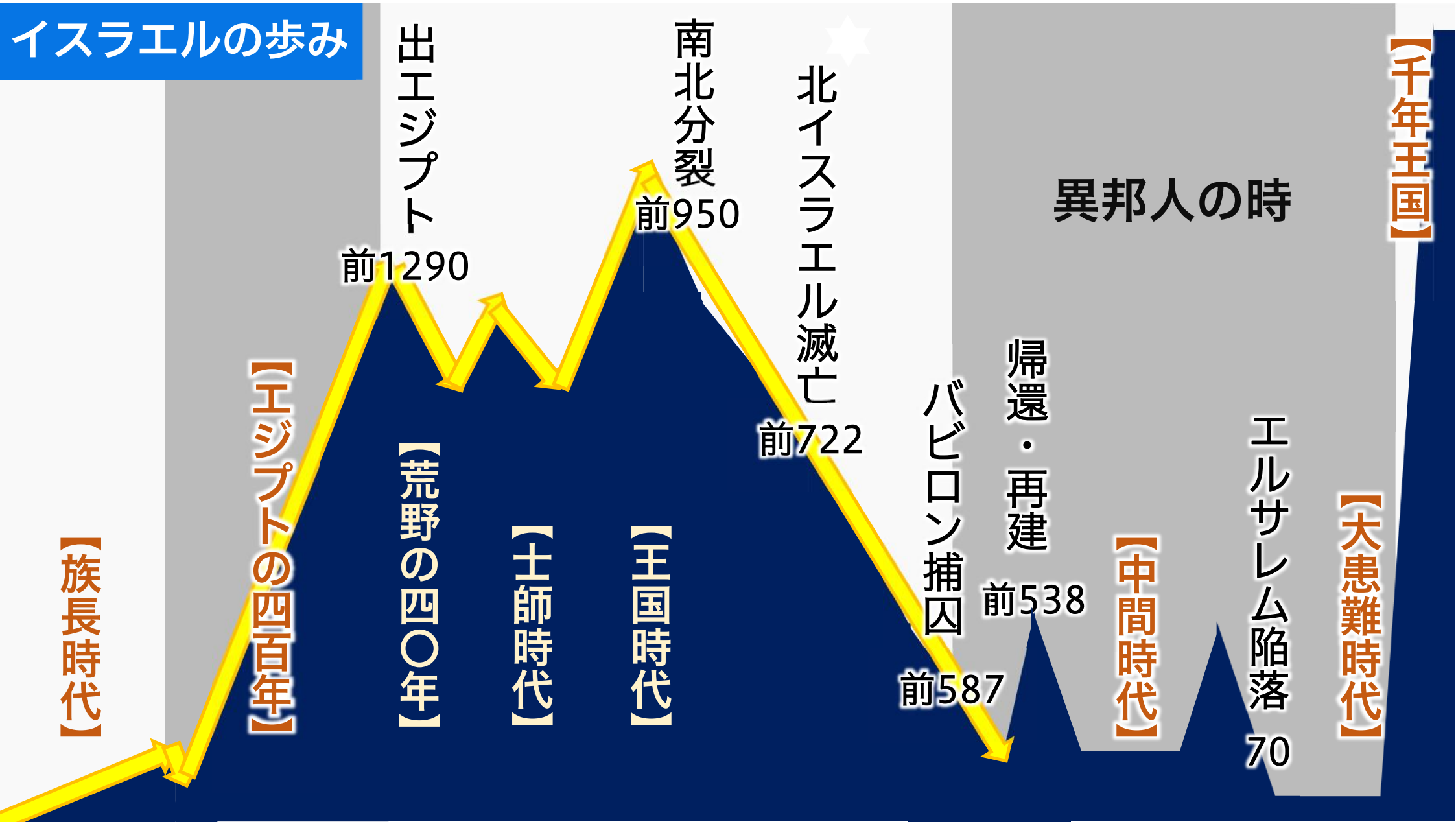
■ 系譜は継がれるが、王になる者はいない



メシアの系図

族長時代	①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち
寄留の時	④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフション → ⑩サルマ
定着の時	⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ
王国時代	⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち
捕囚後～ 中間時代	㉘エコンヤ → ㉙シェアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マタン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

【千年王国】

異邦人の時



Ⅲ. バビロン捕囚後、メシアまで

マタイ福音書1:12~17

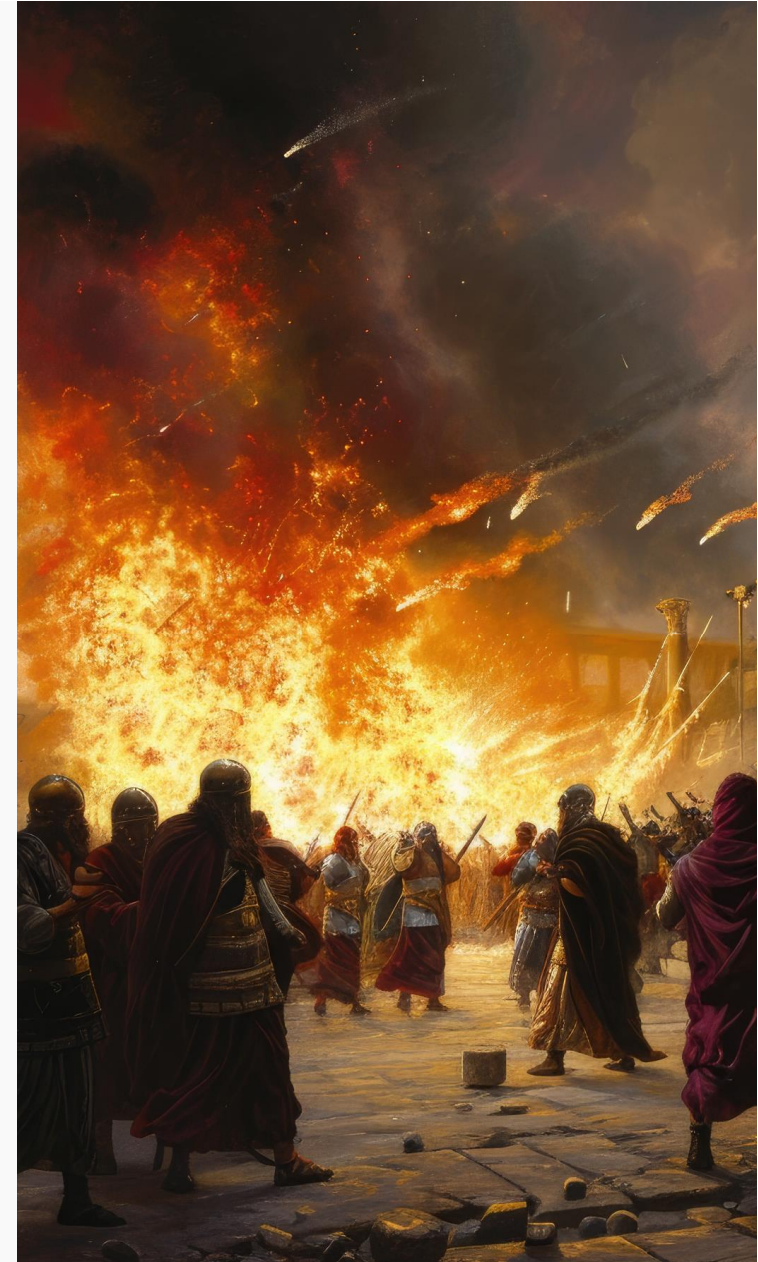
中間時代

継がれる系譜 マタイ1:12～14

バビロン捕囚の後、エコンヤがシェアルティエルを生み、シェアルティエルがゼルバベルを生み、ゼルバベルがアビウデを生み、アビウデがエルヤキムを生み、エルヤキムがアゾルを生み、アゾルがツアドクを生み、ツアドクがアキムを生み、アキムがエリウデを生み、

■ バビロニア～ペルシア～ギリシャ～ローマ

➔ 移り変わる支配者の圧政の下でも
メシアの系譜は継がれていった。



中間時代

メシアの誕生 マタイ1:15～16

エリウデがエレアザルを生み、エレアザルがマタンを生み、マタンがヤコブを生み、ヤコブがマリア*の夫ヨセフを生んだ。**キリストと呼ばれるイエス**は、このマリア*からお生まれになった。

*聖霊により、イエスを懐妊

■ アダムの中から預言されたメシアは、アブラハム、ダビデの子孫として誕生された。

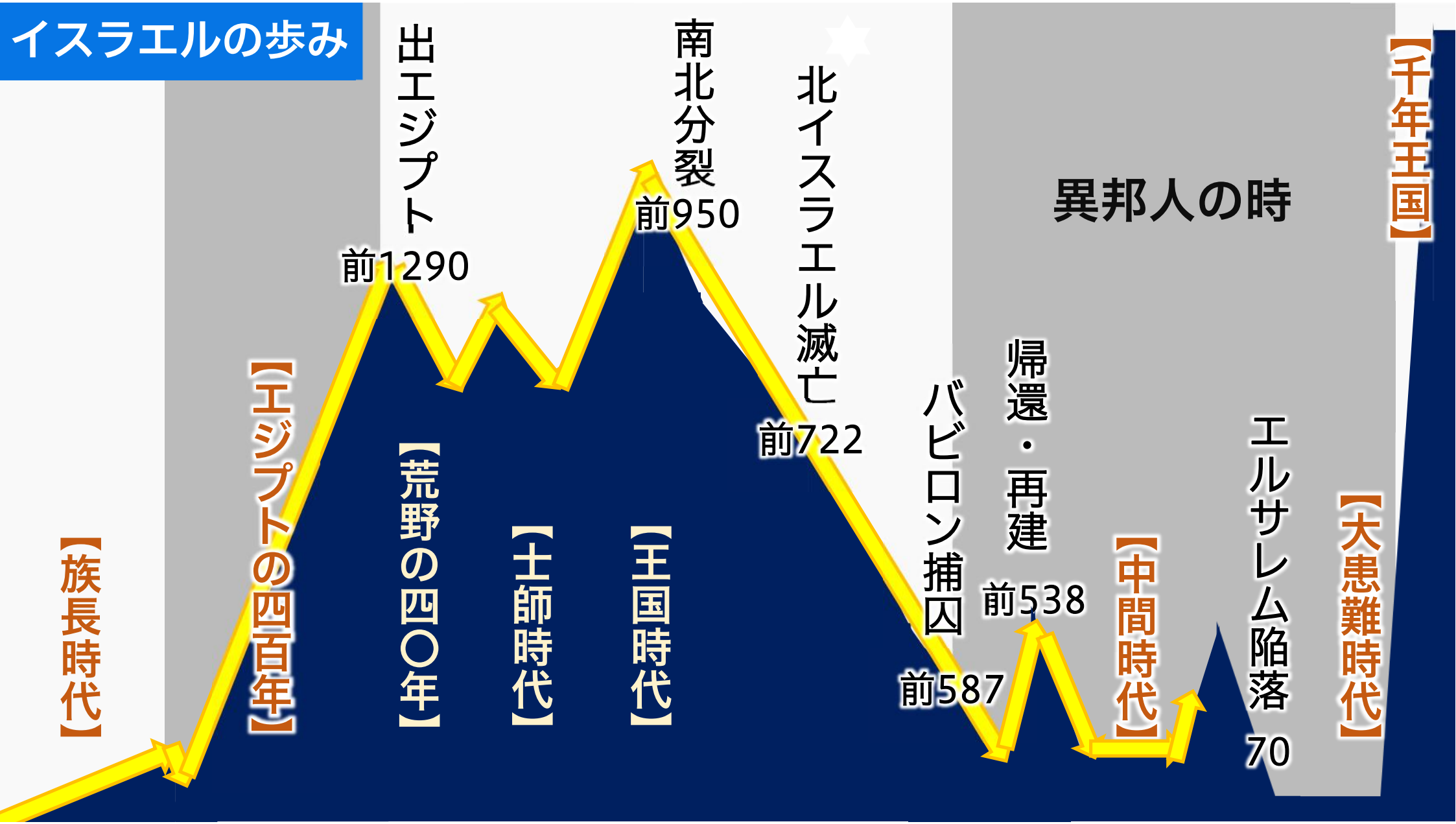
預言されたメシアは誕生された!!

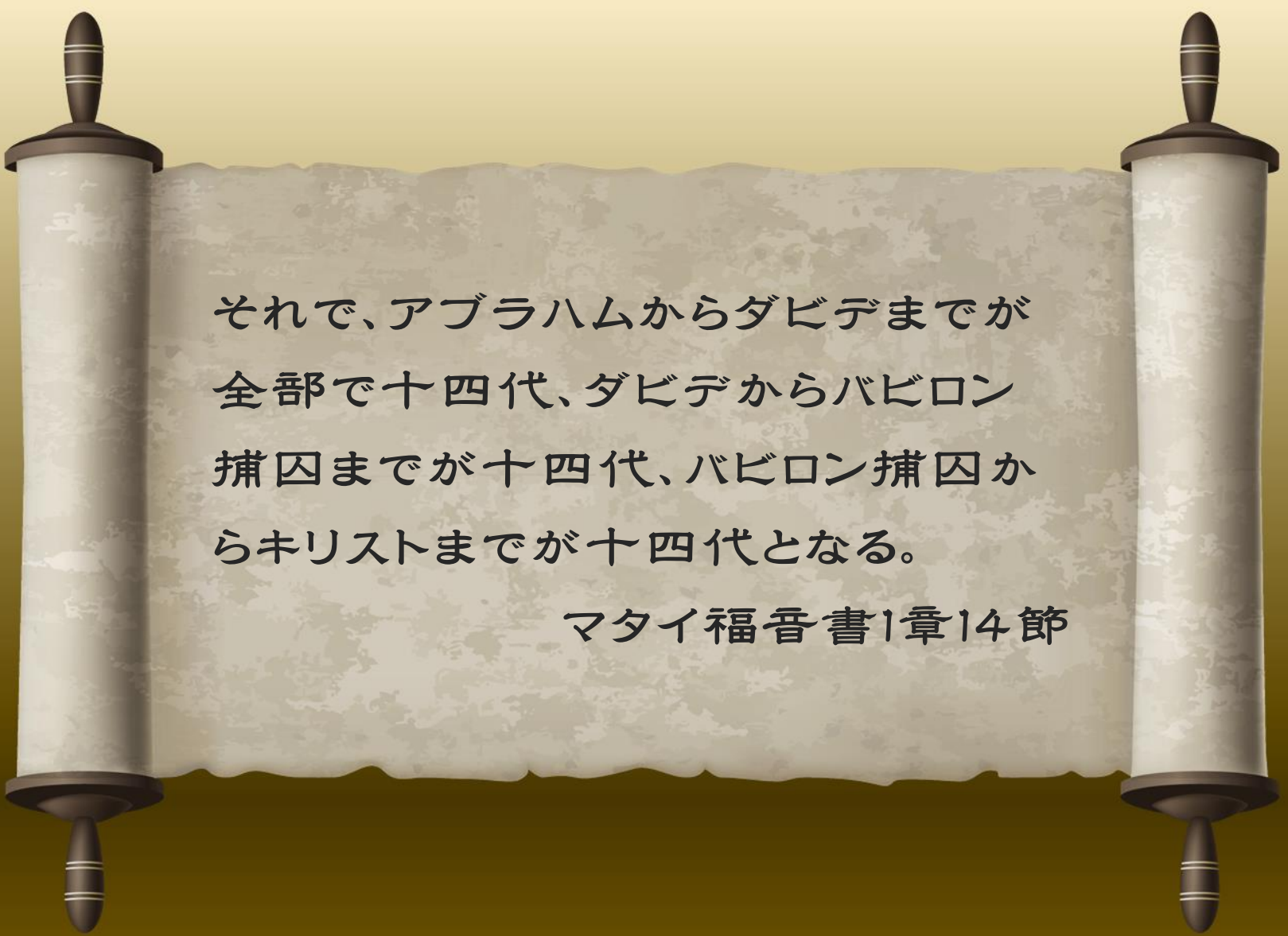


メシアの系図

族長時代	①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち
寄留の時	④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン → ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフシヨン → ⑩サルマ
定着の時	⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ → ⑭ダビデ
王国時代	⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム → ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム → ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ → ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち
捕囚後～ 中間時代	㉘エコンヤ → ㉙シェアルティエル → ㉚ゼルバベル → ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク → ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マトン → ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス

イスラエルの歩み





それで、アブラハムからダビデまでが
全部で十四代、ダビデからバビロン
捕囚までが十四代、バビロン捕囚か
らキリストまでが十四代となる。

マタイ福音書1章14節

メシアの系図

族長時代 ①アブラハム → ②イサク → ③ヤコブ → ④ユダと兄弟たち

寄留の時 ④ユダ(タマル) → ⑤ペレツ、(ゼラフ) → ⑥ヘツロン
→ ⑦アラム → ⑧アミナダブ → ⑨ナフシヨン → ⑩サルマ

14

定着の時 ⑩サルマ(ラハブ) → ⑪ボアズ(ルツ) → ⑫オベデ → ⑬エッサイ
→ ⑭ダビデ

王国時代 ⑭ダビデ(ウリヤの妻) → ⑮ソロモン → ⑯レハブアム
→ ⑰アビヤ → ⑱アサ → ⑲ヨシャファテ → ⑳ヨラム
→ ㉑ウジヤ → ㉒ヨタム → ㉓アハズ → ㉔ヒゼキヤ
→ ㉕マナセ → ㉖アモン → ㉗ヨシヤ → ㉘エコンヤと兄弟たち

14

捕囚後～
中間時代 ㉘エコンヤ → ㉙シエアルティエル → ㉚ゼルバベル
→ ㉛アビウデ → ㉜エルヤキム → ㉝アゾル → ㉞ツアドク
→ ㉟アキム → ㊱エリウデ → ㊲エレアザル → ㊳マタン
→ ㊴ヤコブ → ㊵ヨセフ(マリア) → ㊶イエス

13

まとめ 系図の完成 ダニエル1:17

それで、アブラハムからダビデまでが全部で十四代、ダビデからバビロン捕囚までが十四代、バビロン捕囚からキリストまでが十四代となる。

■ 系図の中で抜けている名もある

→ 14は象徴的な数字…完全数7の2倍

■ $14 \times 3 = 7 \times 6$ …6は完全数7の一步手前
… 7×7 なら究極だが、7代足りない?!

→ **メシアによって完成!! (初臨と再臨)**





IV. まとめと適用

欠けだらけの系図が促す道へ

メシアに至る系図の特異さ

■ 呪われたエコンヤから系譜が継がれている。

➡ エコンヤの子孫に王は出ない(エレミヤ22:28~30)

■ 補完するのが、ルカの系図(ルカ福音書3:24~38)

…ユダ➡シメオン➡レビ➡マタテ➡ヨリム➡エリエゼル
➡ヨシュア➡エル➡エルマダム➡コサム➡アディ➡メルキ
➡ネリ➡シェアルティエル➡ゼルバベル➡レサ➡ヨハナン
➡ヨダ➡ヨセク➡シメイ➡マタティア➡マハテ➡ナガイ
➡エスリ➡ナホム➡アモス➡マタティア➡ヨセフ➡ヤンナイ
➡メルキ➡レビ➡マタテ➡**マリア**

二つの系図が示すこと

■ 補完し合う系図

① ヨセフの系図(マタイ1章)

…メシアに至る法的系譜

② マリアの系図(ルカ3章)

…メシアに至る肉体的系譜

■ 途切れた王権を、主が超自然的な介入によって回復

→ 聖霊によって身ごもった、マリアの処女懐妊

五人の女性たち

■明らかに異質な、いわくつきの5人の女性たち。

…系図に女性の名 →極めて異例 むしろ強調

- ①タマル …異邦人(カナン)。舅ユダの間に子をもうける。
- ②ラハブ …異邦人(カナン)。エリコの娼婦。
- ③ルツ …異邦人(モアブ)。やもめ。
- ④バテシェバ …ウリヤの妻。ダビデと姦淫。
- ⑤マリア …処女懐妊。不信仰者から見れば姦淫。

欠けだらけの系図が示すこと

- ユダヤ人なら誰の目にも明らか、欠けだらけの系図
 - ➔ 問題を抱えた女性たち。王権を絶たれたエコンヤ。
- ただ、神の一方的な介入によって成り立っている。
 - 神の一方的介入のしるし
 - ➔ 5人の女性たち
 - ➔ 聖霊によるメシア懐妊
- この系図は、一方的な神の恵みを証明するもの。
 - ➔ 神の一方的な恵みに基づく契約によって守られた

メシアを信じる信仰へ！

神の一方的な約束の恵みの上に

■ アブラハム契約 創世記12:1～3

12:1 【主】はアブラムに言われた。

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

12:2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

12:3 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。**地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」**

主が約束のゆえにイスラエルを守り、メシアの系譜を継がれた

私たちクリスチャンに与えられた約束

- 「主イエス・キリストは、私の罪のために十字架で死なれ、葬られ、復活された。」

福音の贖いの御業を成し遂げられた主イエスを信じて救われる。

- 異邦人の信者も、アブラハム契約の恵みに接ぎ木された。

主の約束が永遠に私を守り、導く。

聖霊が助けてくださり、私は変えられ、成長させられていく。

- 来るべき神の王国で、栄光の体を与えられ、永遠に住まう。

★ 私の欠けを埋めてくださる方に ★

- 私自身の生涯など、欠けだらけで目も当てられないが、イスラエルの系図のように、主が私の欠けを埋めてくださる。
- できないことを、言い訳にするのはもうやめよう。主が用いてくださるなら、足りないものなどあるわけがない。
- あれもこれも足りてないのが当然だ。歩み出す前ならなおさら。主の促しに応じて、一步踏み出そう。主に従う歩みのただ中で、主がすべての必要を満たしてくださる。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ いっぽうてき めぐ けいやく まも
主の一方的な恵みの契約のゆえに、イスラエルは守られています。

やくそく こ すく みわざ な と
約束のメシアは来られ、救いの御業を成し遂げられました。

しゅ よ お ふたた こ ちじょう みくに た あ
主は、世の終わりに再び来られ、地上に御国を建て上げられます。

しゅ しんらい ゆだ しめい つか
ただ主への信頼をもって、委ねられた使命に遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」